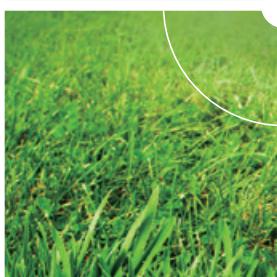


# 株主の皆さまへ

第174期 報告書 2021年1月1日～12月31日



# 「静岡ガスグループ2030年ビジョン」のもと 持続可能なくらしやすい地域の実現に 貢献してまいります

代表取締役 社長執行役員 きしだ ひろゆき  
岸田 裕之



## ガス・電力販売量は前期比で増加

— 2021年12月期におけるガス・電力の販売状況を聞かせてください。

当社グループの基盤事業である都市ガス事業は、販売量が前期に比べ増加しました。飲食店やホテルなど業務用のお客さまは新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況が続いていますが、販売量全体の約半分を占める工業用のお客さまは順調に設備が稼働するなど、前期を大きく上回りました。電力事業については、2021年12月末時点で当社グループの電気をお使いのお客さまが、前期末から約1万7千件増え、7万4千件に達するなど堅調に推移しました。

## — 再生可能エネルギーや海外など新たな事業にも経営資源を積極投入されたようですね。

当社グループは、都市ガス事業の継続的成長を図りつつ、新たな事業領域を開拓・深耕することでさらなる成長を目指していきます。再生可能エネルギー事業では、2021年4月に東北電力(株)様、(株)オリンピア様と、2021年5月に三菱地所(株)様、プロスペックAZ(株)様とバイオマス発電事業に参入することを決定し、事業開始に向け準備しています。その他にも中小型の太陽光発電設備の取得を進めるなど、再生可能エネルギー電源の開発に積極的に取り組んでいます。

海外事業では、2021年7月にタイで太陽光発電事業を行う会社を、現地のエネルギー会社VNET Power社様と共同で設立しました。また、2021年12月にはインドのIRM社様と業務提携し、同国の天然ガス供給事業に参画することを決定しました。インドは、シンガポール、タイ、インドネシアに続く4か国目の海外事業展開となります。

当社グループは、今後も再生可能エネルギー事業や海外事業の展開など、新たな分野の取り組みにも一層注力していく方針です。

## 2050年の社会を見据え 新しい価値創造のサイクルを確立する

### — 2021年12月に公表した「静岡ガスグループ2030年ビジョン」策定の背景を教えてください。

当社グループを取り巻く事業環境は目まぐるしく変わり、将来が見通しにくい状況の中、2050年のカーボンニュートラル実現に向け、その基本方針やロードマップを示した「2050年カーボンニュートラルビジョン」を2021年8月に発表しました。2021年12月には、同ビジョンを踏まえて、当社グループの2030年までの経営方針と取り組みを示した「静岡ガスグループ2030年ビジョン」を公表しました。これら2つのビジョンは不可分なものと位置づけ、実現に向けて取り組んでいきます。

都市ガス事業は、これまで石炭から石油、そして天然ガスへと原料が変遷し、お客さまの暮らしを支え続けてきました。2050年の都市ガス事業は、カーボンニュートラルなガスをお客さまに送り届けていると思いますが、その実現にはいくつものイノベーションが必要であり、まだ時間とコストがかかります。それまでのトランジション（移行）期にある2030年は、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーが拡大していると思いますが、それだけでは需要を賅いきれず、天然ガスも引き続き重要なエネルギーとしてお客さまにお使いいただくことを想定し、ビジョンを策定しました。

## — ビジョンのポイントや主な取り組みについて聞かせてください。

当社グループは社会インフラを担う企業として激甚化・頻発化する災害に対し、LNG基地やガス導管のさらなる強靱化に取り組んでいきます。また、エネルギー企業として環境問題解決に向けた対応だけでなく、経済的発展との両立を目指すことにチャレンジします。そして、地域のお客さまのQuality of Life<sup>※</sup>の向上につながるサービスなどを提供し、持続可能なくらしやすい地域づくりに貢献していきます。そのためには、地域のお客さまや自治体、企業など、様々なステークホルダーと連携して新たな価値を創り上げていく「地域共創」の実現がポイントになります。

当社グループは、地域共創の中心的な役割を果たしたいと考えています。そのためにはステークホルダーからの信頼が重要になります。現在、当社グループは、2025年に地域のお客さまの様々なお困りごとを解決する「地域No.1ソリューション企業グループ」の実現を目指し取り組んでおり、その実現の先には、お客さまをはじめとする地域からの信頼が得られると考えています。

## — 2030年時点における事業ポートフォリオをどのように想定していますか。

現在、当社グループの事業ポートフォリオは、約80%が都市ガス事業となっています。今後は都市ガ



ス事業の基盤強化を図りつつ、新たな成長事業を確立し、2030年には都市ガス事業50%、新たな成長事業50%の多角的なポートフォリオを目指します。新たな成長事業の内訳は、くらしサービスおよびエンジニアリングサービス事業が16%、海外事業が14%、電力および再生可能エネルギー事業が12%、LPG事業が5%、その他の新規事業が3%となります。連結経常利益は130億円、都市ガス事業と新たな成長事業の利益比を1：1に設定し、収益構造の安定化を目指していきます。

※ Quality of Life：一人ひとりが自分らしい生活を送り、人生に幸福を感じているかという「生活の質」。

## — ビジョン達成に向けて、組織体制の改革も推進されています。

2022年1月に、「経営戦略本部」を新設し、またコーポレート機能強化のため、「総務人事部」を本部化し「コーポレートサービス本部」に改称しました。これにより、「営業本部」「導管ネットワーク事業本部」「グローバル・エネルギー事業本部」の3つの事業本部と合わせ5本部制に移行しました。外部環境の変化に速やかに対応するとともに、各本部の権限の強化と意思決定の一層の迅速化を図り、ビジョン達成に向けて取り組んでいきます。

### 株主還元の充実と戦略的な投資による 持続的成長の両立を目指して

## — 最後に株主の皆さまにメッセージをお願いします。

東京証券取引所の再編で誕生する3つの市場のうち、当社は「プライム市場」を選択しました。当社グループの目指すべき姿、方向性などから、ステークホルダーの期待に応えるにはプライム市場が適切であるとの判断です。プライム市場上場企業としての責務を果たすことで、さらなる企業価値向上に努めてまいります。

当社は株主の皆さまに対する利益還元を重要な経営課題のひとつに位置づけています。その一環として、

当社株式への投資魅力を高め、長期にわたり保有していただくため、株主優待制度を導入しました。また、戦略的な投資を通じて持続的な利益成長を実現することも、株主価値の向上を図る重要な取り組みと認識しています。当社エリアには、都市ガスの普及率が低い地域もあります。都市ガス事業のさらなる強化と再生可能エネルギーなどの成長分野に経営資源を投入し、当社グループの持続的な成長を追求するとともに、持続的でくらしやすい地域の実現に貢献していきます。

株主の皆さまには、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 東京証券取引所 新市場区分「プライム市場」 移行決定

当社は、2021年9月取締役会においてプライム市場選択を決議し手続きを進めてまいりました。その結果、本年1月に東京証券取引所より公表されました「上場会社による新市場区分の選択結果」において、プライム市場への移行が確認されました。

# 「静岡ガスグループ2030年ビジョン」を策定

～地域の皆さまと共につくる新しい価値創造のサイクル～

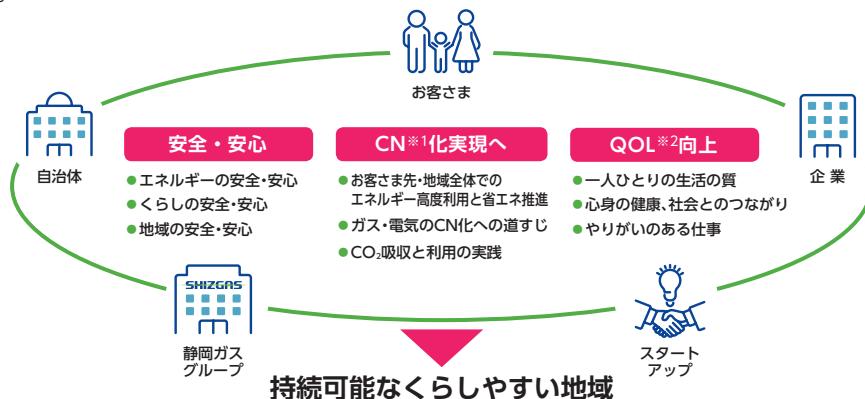
当社グループは、2030年までの経営方針と取り組みを示す「静岡ガスグループ2030年ビジョン～地域の皆さまと共につくる新しい価値創造のサイクル～」を策定しました。

地域のお客さまや企業と深く連携する「地域共創」を通して、地域が抱える様々な課題の解決に寄与し、持続可能な地域づくりに貢献していきます。基盤事業である都市ガス事業は継続的な成長を図りつつ、新たな成長事業を確立することで、2030年の連結経常利益130億円、経常利益に占める都市ガス事業以外の比率50%を目指します。

静岡ガスグループは社会の大きな変化を見据えながら、これからもお客さまとともに歩み、持続可能な社会の実現と地域社会のさらなる発展に貢献してまいります。

## 2030年 当社グループが目指す “地域共創”づくり

事業を通じて、地域のステークホルダー（お客さまや企業・自治体）とともに3つの視点から価値を提供し、持続可能なくらしやすい地域づくりを目指します。

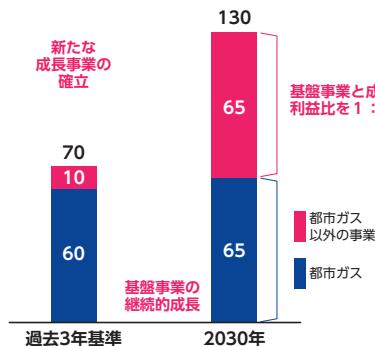


※1 カーボンニュートラル：温室効果ガスの排出量から吸収量と除去量を差し引いた合計をゼロにすること。  
※2 Quality of Life：一人ひとりが自分らしい生活を送り、人生に幸福を感じているかという“生活の質”。

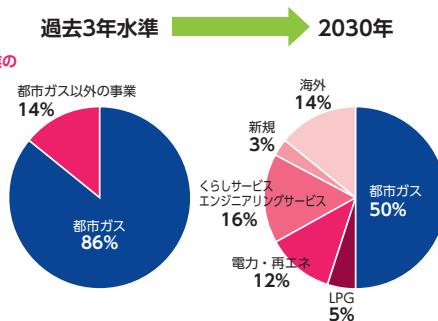
## 2030年 連結経常利益および 事業ポートフォリオ

都市ガス事業の継続的成長を図りつつ、新たな成長事業を確立することで、さらなる成長を目指していきます。

### 連結経常利益（億円）



### 目標とする事業ポートフォリオ



# 2030年に向けた取り組み

## 1 都市ガス・LPG事業

### お客さま先でのCO<sub>2</sub>削減

- 天然ガスへのシフト加速
- エネファーム、コージェネ普及拡大
- お客さまと共に実施する省エネ推進(行動変容型DR※1等の活用)



### 原料のCN化、CO<sub>2</sub>回収・利用

- カーボンニュートラルLNG/LPG※2の導入
- 業界団体・学術団体などと共にメタネーション※3・CCU※4の技術開発推進

### 安全・安心

- 都市ガス製造・供給設備への継続的なレジリエンス投資
- デジタル技術を活用した保安レベルの向上・技術伝承

※1 お客さまの自発的な節電行動(行動変容)を促し、エネルギー需要の抑制を目指す取り組み。  
 ※2 採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを森林の再生支援などによるCO<sub>2</sub>削減分で相殺したLNG/LPG。  
 ※3 水素とCO<sub>2</sub>から天然ガスの主成分であるメタンを合成する技術。  
 ※4 CO<sub>2</sub>を資源と捉え、回収・利用する技術。

## 2 電力・再エネ事業

### 再生可能エネルギー(再エネ)開発

- 太陽光発電、バイオマス発電の開発推進
- 耕作放棄地への太陽光発電設置など、地域資源を活用した再エネの開発



### 電力の地産地消

- 再エネの地産地消の仕組み構築
- 蓄電池や分散型電源(エネファーム・コージェネなど)の接続による再エネの最大導入および電力網のレジリエンス強化

## 3 暮らしサービス・エンジニアリングサービス事業

### お客さま・企業の課題解決

- お客さまデータを集積・分析し、リアル接点とデジタル接点の活用による個々のお客さまのライフステージやビジネスに合った課題解決の実践



※ 事業所・ビル、店舗などの空調、照明、動力などのエネルギーを最適に制御するシステム。

## 4 新規分野

### 地域共創による地域課題解決への挑戦

- 水道本管・地域のレジリエンス強化
- 地域のDX推進によるIT人材の育成・呼び込みと、産業の創出・拡大
- 地域のデータを連携し、デジタル技術の活用とステークホルダーとの共創による事業活動を通じた地域課題解決(右図)
- 国内外の森林保全プロジェクトへの参画

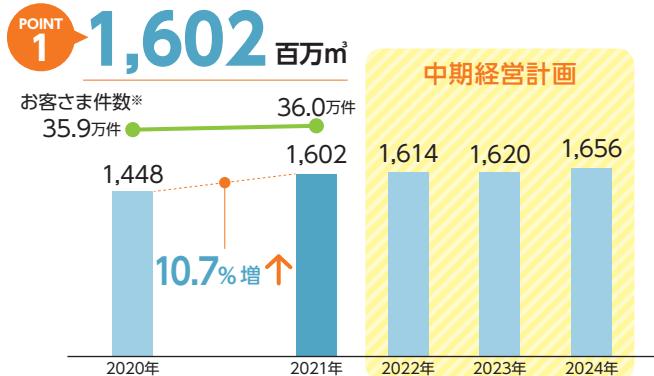


## 5 海外事業

### グローバルでの課題解決

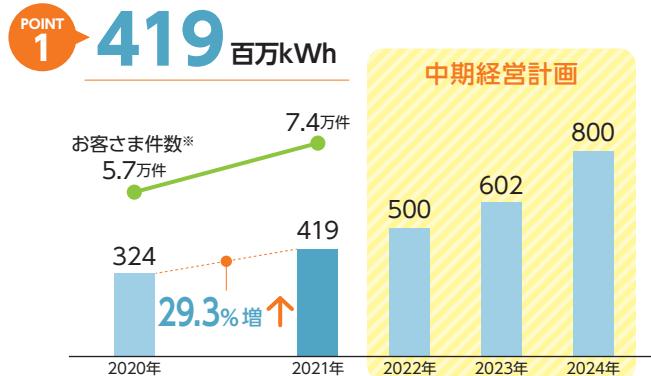
- 東南アジア地域を中心に、国内ガス事業で培った技術やノウハウを活用して天然ガスシフト・エネルギーの高度利用を推進し、グローバルでのCO<sub>2</sub>削減に貢献
- 地域に適した再生可能エネルギーの開発を推進
- 二国間クレジット制度を活用して、海外でのCO<sub>2</sub>削減貢献分の一部を国内に還元

## ■ ガス販売量 (個別) (単位:百万m<sup>3</sup>(45MJ))



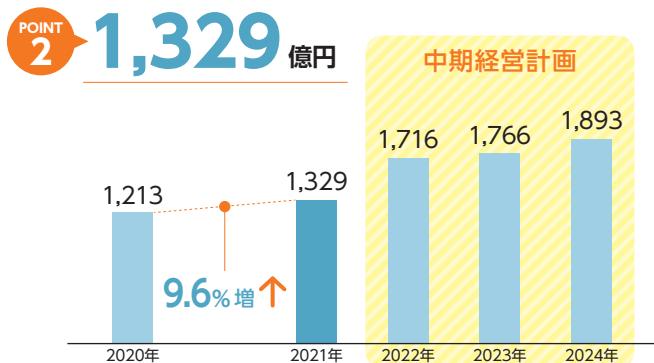
※お客さま件数は設備戸数(連結)。

## ■ 電力販売量 (卸売を除く) (単位:百万kWh)



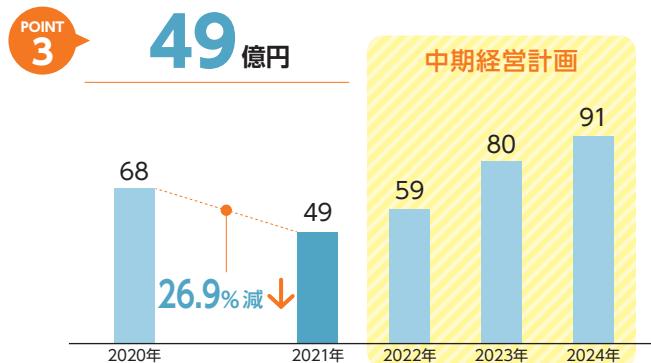
※お客さま件数は使用中戸数。

## ■ 売上高 (単位:億円)



※2022年から2024年の計画は、為替レート120円/ドル、原油価格(全日本CIF) 80ドル/bblの想定です。

## ■ 営業利益 (単位:億円)



### 株主の皆さまの声を ご紹介します。

前回アンケートでいただいたコメントを一部抜粋し掲載しております。ご協力ありがとうございました。

地域の暮らしを支える御社を応援しています。

低炭素と脱炭素への取り組みは必須と思います。業界の先頭に立ってほしいです。

DNAでもあるチャレンジ精神で、積極的に事業展開してほしいです。

## POINT

1

ガス販売量は、工業用のお客さまの稼働状況が堅調だったことや近隣の都市ガス会社への卸販売が増加したことなどにより、前期を上回りました。  
電力販売量は、SHIZGASでんきをお使いのお客さまが増加したことなどにより、前期を上回りました。

2

売上高は、ガス販売量および電力販売量が増加したことなどにより、前期を上回りました。

3

営業利益は、原料価格の変動がガス販売単価に反映されるタイムラグの影響などにより、前期を下回りました。

## ■ 総資産・純資産 (単位:億円)



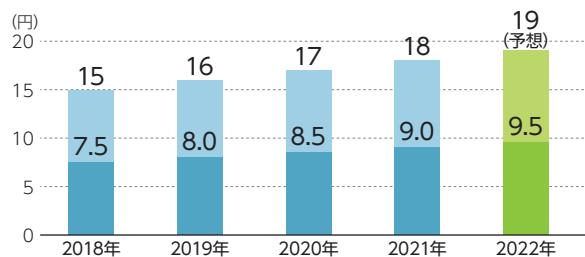
## ■ 配当金の推移

2021年度年間配当金

1株につき **18円**  
(中間9.0円+期末9.0円)

2022年度予想年間配当金

1株につき **19円**  
(中間9.5円+期末9.5円)



### 配当方針

業績、株主資本配当率(DOE)等を勘案し、安定的かつ継続的に株主さまへの還元を充実していきます。



詳しい情報は静岡ガスのIRページへ

<https://ir.shizuokagas.co.jp/ja/ir/Top.html>

静岡ガス IR

検索

スマートフォンでもご覧いただけます→



コロナが落ち着いたら、また見学会イベント的なものを再開してください。

株主優待制度を設けてほしい。

地域担当の社員の対応は、どの方がいらしてもとも良いと思います。

将来性・成長性に期待しています！

コロナ禍でも、売上高を伸ばしているところがとても評価できます。

## カーボンニュートラルLNGの初導入

当社は、2021年9月に、環境負荷を抑えたカーボンニュートラルLNGを初めて導入しました。今回のカーボンニュートラルLNGは、天然ガスの採掘から液化、輸送、再気化、国内顧客による燃焼に至るまでの全ての工程で発生する温室効果ガスに対して、(株)INPEXがカーボンクレジット\*を用いたオフセットを行って供給するものです。

当社グループは、2021年8月に公表した「2050年カーボンニュートラルビジョン（以下、CNビジョン）」で、カーボンニュートラルメタンや水素などの新技術活用等を通して、2050年に脱炭素社会の実現を目指す方針を示しました。

今後も、お客さまとともに未来を見据えた取り組みを推進し、地域活性化と持続的な成長に貢献してまいります。

※省エネ機器導入や森林保全等による温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として発行し、そのクレジットを企業間等で売買する仕組み。



清水エル・エヌ・ジーに入港したLNG船

## インドにおける天然ガス供給事業への参画について

当社は、インドで天然ガス供給事業を展開するIRM Energy Private Limited（以下、IRM社）に出資し、業務提携することで基本合意しました。2022年から同国での産業用を中心とした天然ガス供給事業に参画します。当社の海外事業展開はシンガポール、タイ、インドネシアに続く4か国目となり、東南アジア以外では初めてとなります。

IRM社はインド西部のグジャラート州、北部のパンジャブ州の2州・計3地域の都市ガス・コンセッション事業\*で、主に自動車用圧縮天然ガス（CNG）ステーション、ご家庭、産業用のお客さまに対して、都市ガス導管を通じた天然ガスの供給や提案を行っています。今回の業務提携を通して、当社が国内で長年培ってきた省エネルギーやエネルギー高度利用の知見を活かし、産業用の天然ガス需要の創出に取り組みます。

当社はCNビジョンで、海外での天然ガスシフトや再生可能エネルギーの普及を進める方針を示しました。今後も、国内外で脱炭素社会の実現を後押しし、地域社会の発展に貢献してまいります。

※ある特定の地理的もしくは事業範囲において、事業者が独占的な営業権を付与されて事業を運営する方式。



IRM社の営業エリア

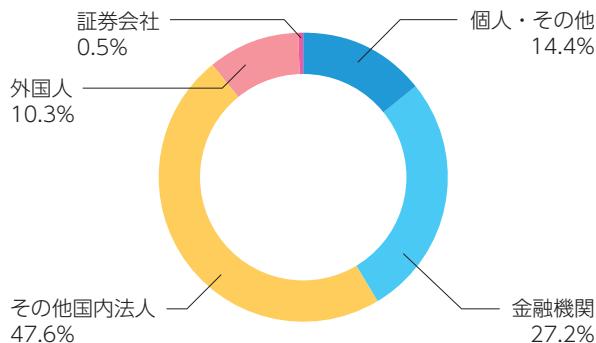
## ■ 会社概要

会社名	静岡ガス株式会社
設立	1910年(明治43年)4月16日
資本金	6,279百万円
事業内容	都市ガスの製造・供給および販売 LPGの販売 発電および電力の販売 リフォーム、ガス機器販売、ガス工事 等

## ■ 株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	76,192,950株
株主数	5,786名

## ■ 所有者別株式分布状況



※自己株式を控除して計算しております。

## ■ 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで	
定時株主総会	3月	
基準日	定時株主総会・期末配当 中間配当	12月31日 6月30日
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 〒100-8241 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号	
郵便物送付先	みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号	
電話照会先	☎0120-288-324(フリーダイヤル)	
公告の方法	電子公告により公告します。 ( <a href="https://www.shizuokagas.co.jp/">https://www.shizuokagas.co.jp/</a> ) *ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
1単元の株式数	100株	
証券コード	9543	

### ●住所変更、単元未満株式の買取・買増等について

株主さまの住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

### ●未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店・全国各支店にてお支払いいたします。  
 なお、配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、当社定款の定めによりお支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。

### ●その他のお問い合わせ

静岡ガス(株) コーポレートサービス本部 総務部 総務担当  
 ☎054-284-4153

## アンケートのお願い

同封のアンケートはがきで、  
ご意見・ご感想をお聞かせください。



## サステナビリティサイトオープン



当社グループのサステナビリティサイトを開設しました。サステナビリティに対する基本方針をはじめ、マテリアリティや取り組み内容など、幅広く掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.shizuokagas.co.jp/about/sustainability/index.html/>

スマートフォンでもご覧いただけます➔



### 基本方針について

私たち静岡ガスグループは、1910年の創業以来「地域社会の発展に寄与するため」との企業理念に基づく様々な事業活動によって、地球環境の保全や地域社会の発展に貢献してきました。私たちはこれからも、この企業理念の実践を通じて、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、持続的な企業価値の向上を目指します。

- お客さまや地域に寄り添った事業活動を通じて、社会課題を解決します。
- 公正かつ透明な経営により、社会やステークホルダーの信頼に足る企業であり続けます。
- ステークホルダーとの対話を通じて、ともに持続可能な社会の実現に取り組みます。



## 株主優待制度導入について

株主の皆さまの日頃からのご支援やご理解に感謝するとともに、より多くの方々に長期にわたって当社株式を保有していただくことを目的に株主優待制度を導入しました。

### (1) 対象となる株主さま

2021年12月末日以降、毎年12月末日時点で当社株式を3単元(300株)以上保有される株主さま。

### (2) 優待内容

対象の株主さまは、保有株式数、保有期間に応じて、静岡県の特産品・名産品や、当社ポイントサービス「エネリア motto ポイント」と交換していただくことができます。また、商品に代えて静岡県グリーンバンク様への寄付を選んでいただくこともできます。



保有株式数	保有期間	
	3年未満	3年以上
300株以上1,000株未満	1,000円相当の商品等	1,500円相当の商品等
1,000株以上2,000株未満	5,000円相当の商品等	7,000円相当の商品等
2,000株以上3,000株未満	8,000円相当の商品等	10,000円相当の商品等
3,000株以上	10,000円相当の商品等	15,000円相当の商品等

スマートフォンでもご覧いただけます➔

<https://shizuokagas.premium-yutaiclub.jp>



**SHIZOGAS**

静岡ガス株式会社

静岡市駿河区八幡一丁目5番38号  
<https://www.shizuokagas.co.jp/>

